

令和5年度小城市子ども・子育て会議（第1回） 議事録

- 開催日時 令和6年1月15日（月）午後2時～午後4時20分
- 開催場所 小城市役所大会議室（西館2階）
- 出席委員 山田会長、高山委員、金田委員、船津委員、古川委員、永松委員、西村委員、田中委員、古川委員、八頭司委員、圓城寺委員、鳥越委員、嶋田委員、草場委員（計14名）
- 欠席委員 村岡委員（計1名）
- 事務局 松尾福祉部長
社会福祉課：池田課長、古賀副課長、原子育て支援係長
健康増進課：右近課長、原田保健師
保育幼稚園課：於保課長、南里副課長、松尾保育幼稚園係長
教育総務課：古川学事係長、小田主事
- 傍聴者 なし

【会議次第】

1. 開 会
2. 委嘱状の交付
3. 市長あいさつ
4. 委員及び事務局職員の紹介
5. 会長・副会長の選出
6. 会長あいさつ
7. 議題
 - (1) 「小城市子ども・子育て支援事業計画」について 資料1
 - (2) 第2期子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について 資料2
 - ①幼児期の学校教育・保育の提供 資料2－1
〈参考資料〉利用状況の内訳（幼児期の学校教育・保育の提供）
資料3
 - ②地域子ども・子育て支援事業 資料3－1
〈参考資料〉放課後児童健全育成事業 放課後児童クラブ
 - (3)小城市立幼稚園・保育園の再編計画（案）について 資料4
 - (4)「（仮称）小城市こども計画」について 資料5
〈参考資料〉こども大綱 資料5－1
8. その他
・次回開催日について
9. 閉 会

1. 開会

会議役割を説明（条例の一部を読み上げる）

2. 委嘱状の交付

任期満了による委員改選のため、委嘱状を交付。

代表して「山田委員」に交付（前方で江里口市長から山田委員へ交付）、他の委員については、机上交付。

3. 市長あいさつ

(江里口市長)

委員のうち7名がこれまでの委員で、8名が新しい委員となります。よろしくお願いいたします。

この会議は、第2期計画の進捗状況の確認と次期計画の策定に向けた意見を伺いたいと思います。

4月にこども家庭庁が発足し、「こどもまんなか社会」の実現を目指していこうということで、12月にはこども大綱が閣議決定されました。

妊娠・出産・子育てまで一元的に目を向けていくため、地域の関係者からそれぞれの立場でご意見をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

4. 委員及び事務局職員の紹介

小城市子ども・子育て会議委員名簿順に所属と氏名を紹介し、委員より一言あいさつをいただく。

事務局については、福祉部長→社会福祉課→健康増進課→保育幼稚園課→教育総務課の順にあいさつ。

5. 会長・副会長の選出

互選により会長ならびに副会長の立候補を募るが委員からなし。

事務局より会長に山田委員、副会長に草場委員を提案、委員一同了承。

6. 会長あいさつ

(山田会長)

この会議で小城市の施策として実施している事業について、意見を出していただく会議と理解しています。どんな意見でもいいので、たくさん発言いただければと思います。

よろしくお願いいたします。

(事務局)

会議の公開について、説明。

7. 議題

議事について、進行を事務局から山田会長に交代。

(1)「小城市子ども・子育て支援事業計画」について

資料1

事務局：第1期計画、第2期計画策定までの経緯や子ども・子育て会議の役割、委員の役割、会議の進め方について説明。

会長：説明について、質問・意見はありませんか。

委員：質問なし

(2) 第2期子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

①幼児期の学校教育・保育の提供

資料2

資料2-1

事務局（保育幼稚園課）：

幼児期の学校教育・保育の提供について、1号認定（3～5歳、教育のみ）・2号認定（3～5歳、保育必要）・3号認定（0歳、保育必要）（1～2歳、保育必要）の令和4年度の実績及び令和5年度の間接報告を説明。

②地域子ども・子育て支援事業

資料3

資料3-1

事務局：

利用者支援事業（健康増進課）

地域子育て支援拠点事業（社会福祉課）

妊婦健康検査（健康増進課）
乳児家庭全戸訪問事業（健康増進課）
養育支援訪問事業（健康増進課）
子育て短期支援事業（社会福祉課）
ファミリー・サポート・センター事業（社会福祉課）
一時預かり事業（保育幼稚園課、社会福祉課）
延長保育事業（保育幼稚園課）
病児・病後児保育事業（社会福祉課）
放課後児童健全育成事業（教育総務課）

各事業の概要と、令和4年度の実績及び令和5年度の中間報告を事務局より説明。

会 長：気づき、意見等はありませんか。

委 員：養育支援事業について、希望があった家庭に支援を行なっているのか。

それとも、市で支援が必要と考えた家庭に支援しているのか。

事務局：家庭から希望された場合にも支援を行なうし、産前・産後の面談において、気になる家庭に支援を行なう場合もある。

委 員：計画の見込み値は実績にあっているのか。

事務局：令和元年度に第2期計画を策定し、令和5年度に中間見直しを行っているため、ある程度、実績に沿った見込み値になっている。

委 員：資料2-1の説明で、待機児童はいないと言われたが、行きたい園に入れない子どもがいると聞く。その子どもは待機児童と言わないのか。

事務局：入園できる園があれば希望する園に入れなくても待機児童という扱いにはならない。

委 員：資料2-1で市外からの利用、市外の園を利用とあるが、市外も利用できるのか。

事務局：元々、市内の園に通っていた児童が市外へ転出した場合や、市外の園に通っていた児童が市内に転入した場合など、そのまま引き続き園を利用したいという場合に利用することができる。その他にも、入所調整し入園できる場合もある。

委 員：利用者支援事業の実績が1となっている理由を教えてください。

事務局：相談窓口を設置している子育て世代包括支援センターの設置数を指すもの。

(3) 小城市立幼稚園・保育園の再編計画（案）について

資料4

事務局：再編計画（案）策定に至る経緯及び計画（案）の内容を説明。

会 長：質問・意見はありませんか。

委 員：質問なし

(4) 「(仮称) 小城市こども計画」について

資料5

資料5-1

事務局：①「(仮称) 小城市こども計画」の策定に向けた経緯や計画内容（案）について

②「小城市子ども・子育て会議条例」の改正案の提案について

③今後のスケジュールについて

④令和6年2月～3月に実施する子育て支援に関するアンケート調査」「子どもの貧困に関するアンケート調査」について説明。

会 長：質問・意見等はありませんか。

委 員：高校生とのワークショップについて、令和5年度に県（こども未来課）でも西九州大2年生や短大生（20歳）を対象に実施された。90分の2コマで実施。グループワークを中心に、テーマを「夢、自分に影響をあたえてくれた人、嫌だったこと」などであった。それを参考にしてもよいのではないか。

委 員：SOSを出せない家庭の話をされたが、産後1か月、2か月以降の支援について、知りたいけど、どこで調べれば良いかわからない人もいる。関わり方もわからない人もいるので目線を下げてもらいたい。市と団体との連携などができないか。

事務局：今後、策定する計画の中で細かい事業内容までは協議できないかもしれないが、連携強化などは計画にも盛り込む予定。また、昨年度より始まった出産・子育て給付金の支給に際して、きめ細やかな支援が行えるよう面談を実施している。また、妊娠届時にお渡ししている子育てガイドブックには、QRコードを記載し携帯でも読み取れるようにし、様々な子育て支援の情報を提供している。

会 長：大きな課題だと思うので、今後も意見をお願いします。

議題が終了しました。ご協力いただき、ありがとうございました。

山田会長より事務局へ進行を交代

8. その他

次回開催について

事務局：例年2回会議を実施していたが、今年度は今回の1回のみの開催となる。

来年度は計画策定に向けた協議を行っていくので、5回程度の会議を予定しているため、年度当初の早い時期の4月～5月に会議を開催したい。

日程が決まり次第、通知を送付する。

9. 閉会

